

# JMRC 地区通信

JMRC各地区から名物イベント情報や規則改正、告知などのお知らせを発信する地域の伝言板ページです

## JMRC 関東

### 熱いダートラバトルの後に 温泉で汗を流せる全日本戦

2015年JAF全日本ダートトライアル選手権第6戦NOZAWAダートトライアルが、8月8日(土)〜9日(日)に長野県野沢温泉村のモーターランド野沢で開催されます。8日は公式車検と公式受付のみとなつていますが、9日は午前8時45分から第1ヒートがスタート。全日本戦も後半となり、140台を超える競技車が熱いバトルを繰り広げます。

開催場所のモーターランド野沢は、高台からコースを一望できる絶好のロケーションで、各車の走りをすべて見ることが出来ます。また、スキーと温



泉で知られる「野沢温泉」までは、モーターランド野沢から車で約15分と至近！ダートラ観戦と温泉三昧が一緒に楽しめることも、この野沢戦の大きな魅力です。ただし、モーターランド野沢へは、関係者以外は車の乗り入れができません。観戦の際は、会場近くの「ふるさと物産センターねりん」から、送迎のシャトルバスをご利用ください。また、第1ヒートと第2ヒートの間には、野沢温泉の宿泊券やスポーツカー各社様からの提供品が当たる、お楽しみ抽選会が企画されているようです。ぜひ奮ってご参加ください。なお、会場は日陰がないので、帽子等をお持ちくださることをお勧めします。詳しくは、下記色オビ内URLのイベント公式HPでご確認ください。

[http://www.janis.or.jp/users/rt-hato/2015nozawa\\_dirt/index.htm](http://www.janis.or.jp/users/rt-hato/2015nozawa_dirt/index.htm)

## JMRC 中部

### ジムカーナレッスツア 好評開催に手応え!

JMRC中部ジムカーナ部会では、今年もレッスツアを開催しています。新しい仲間を増やすにはこの地道な活動が最も重要と、2005年より継続して取り組んでいます。

今年の第1回は石川県大日スポーツランドで、2回目は静岡県エコパで行いました。

今年の成果は、参加者のほとんどが初心者や初体験の方だったことです。

エコパでは、ジムカーナ体験会とレッスンを同時開催しました。JAF中部本部の協力を得て、JAFMATE誌で募集し、体験会に12名、レッスンには39名の参加がありました。なかには、体験会で申し込んだものの、その場でレッスンに変更する強者もいらっしゃいました。参加した皆さんにはジムカーナの楽しさを存分に満喫していただけたようです。



この模様は、JMRC中部ジムカーナ部会のFacebookで公開していますので、ぜひ訪問して、「いいねー」していただければ幸いです。

参加者と接したなかで感じたことは、実は皆さんの中では「広場で思いっきり愛車を走らせてみたい」という願望が強いようだという事です。エコパのような広くて安全なコースさえあれば、まだまだモータースポーツは発展する可能性がありそうだというのが開催後の実感です。読者のみなさんの周りにも、そんな密かな願望をお持ちの方がいらしたら、ぜひこのイベントを紹介してあげてください。今後は富山、愛知、岐阜と3回の開催を予定しています。

詳しくは、JMRC中部HP(下記色オビ内URL)をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。



<http://www.jmrc-chubu.jp/>

## JMRCとは?

JMRCは「JAF Motorsports Clubs Regional Conference」の略語で、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ、レースなどのモータースポーツを楽しむ参加者、主催者を応援するとともに、業界の発展を目指して活動を行っている組織です。北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の8地区に分かれています。

## JMRC 近畿

### 鈴鹿に初夏のイベント! サポートレースも元気です

全7戦が設定されている2015年の鈴鹿クラブマンレースも6月下旬、シーズン折り返しの第4戦を迎え、鈴鹿に耐久のシーズンが到来しました。舞台も今季初のフルコースを使用。耐久クラスのほか、サポートレースも盛りだくさんで、初夏を彩る大会となりました。

エントリー台数も今季最多の149台を集めたうえに、梅雨の間の太陽が選手たちを歓迎してくれたようで、耐久レースに相応しい日差しを与えてくれました。

耐久クラス以外では、Netz Cup Vitz Raceの関西シリーズが開催されましたが、決勝48台という近年にはない台数が集まり、とても見応えのあるレースが行われました。入門カテゴリーに元気があり、レースが盛り上がりつつあるのは、とても喜ばしいことです。メーカーの尽力が伺えます。

加えて、鈴鹿を拠点とするホンダ無限がサポートする、F1T1・5チャレンジカップは、今年で2年目。これまで3戦が開催されていますが、各戦で勝者が異なるという熱戦ぶりを見せており、こちらも毎戦、ワクワク・ハラハラしながら楽しませてくれます。

レース部会としては、このページで情報を見た読者のなかから、ひとりでも多くの方にサーキットに足を運んで

いただき、レースを身近に感じてもらいたいと願っています。

そして、モータースポーツの様々なカテゴリーに出会っていただく、自分なりの一歩を踏み出していいただくことにつながってくれば、なにより幸いです。

鈴鹿クラブマンレースは次戦、第5戦が9月13日の開催。コースは西コースです。その後、第6戦が10月18日に東コースで開催。12月5・6日の最終戦は、再びフルコースが舞台となります。

もちろん、他地区からの参加も大歓迎です。いつもはタカササーキットなどで腕を磨いている方など、我こそはと思う猛者の音場をお待ちしています。



<http://www.jmrc-kinki.net>

## JMRC 中国

### 中四国ラリーシリーズ 安芸高田戦がTSで開催

JMRC中四国ラリーシリーズEX戦が、広島県安芸高田市で行われました。安芸高田市支所で行われたセレモニアルスタートでは、多くのラリーファンに見送られ、いつもと違う雰囲気に参加選手には緊張感も。SSはすべてテクニクステージタカタ内で行われる5本でした。SS1でトップに躍り出たのは、西ランサー。今日は勝って当たり前と言われ、緊張しつつ「ここでトップを取らねば!」と本気で走ったタイムは2番手に3秒差。同じレイア

ウトのSS2、3をすべて同秒で折り返しSS4まで連続ベストでした。勝負満々の松岡ランサーでしたが、走るほどに差は広がるばかり。一方で、どんたタイムを縮めてきた長江ランサーは、最終SSで完走。ベイスの西を抑えてのベストで2位浮上! 首位を守り切った西は安堵の表情でした。FG-2では、九州の中西スイフトがブツキリりの優勝。2位には転ばないように行ったという片山アルトが入りました。次戦は8月1日に、高知県で行われます。

### JMRC中四国運営委員会 各部会が活発に意見交換

7月12日、愛媛県紙産産技術センターにて、JMRC中四国運営委員会が行われました。ジムカーナ部会ではイベントによっては赤字で運営を行う主催者が出てきており、シリーズを通して主催者で解決の糸口を見出す方向となりました。部長からは、来年度に全日本ラリーで有名な美川で全日本ジムカーナ開催の申請を出すとのこと。カレンダー入りの是非は未知数とのことですが、明るいニュースです。ダートトライアル部会でも参加台数の減少が

懸案。打開策が見えず、こちらは苦戦が続いています。ラリー部会では、開幕戦で40台超えと活気を呈しており、西日本グランドツアラーが大きな要因を占めているとお話でした。来年度はオールスターラリーを四国で開催する予定ですが、主催者の事情により急ぎよ、徳島県から高知県に変更。会場とコースは無事クリアしており、サービスパークは高速道路のICから20分の好立地。ギャラリーステージも設定できるグラベルラリーが開催できそうです。

<http://www.jmrc-shikoku.gr.jp>

<https://www.facebook.com/jmrc.fg.rally>